

青森県医師確保計画における各種施策の現状等

令和5年2月

青森県健康福祉部医療薬務課

1. 青森県医師確保計画の概要

1 計画策定の趣旨

○ 平成30年7月に公布された改正医療法(平成31年4月1日施行)に基づき、医療圏間の偏在是正による医師確保対策等について、医療計画の一部として新たに「医師確保計画」を策定することが求められた。

2 計画の位置づけ

○ 医療計画に記載する「医師の確保に関する事項」

3 計画期間

○ 計画期間は、令和2年(2020年)4月から令和6年(2024年)3月の4年間。
※ 以降は3年ごとに策定

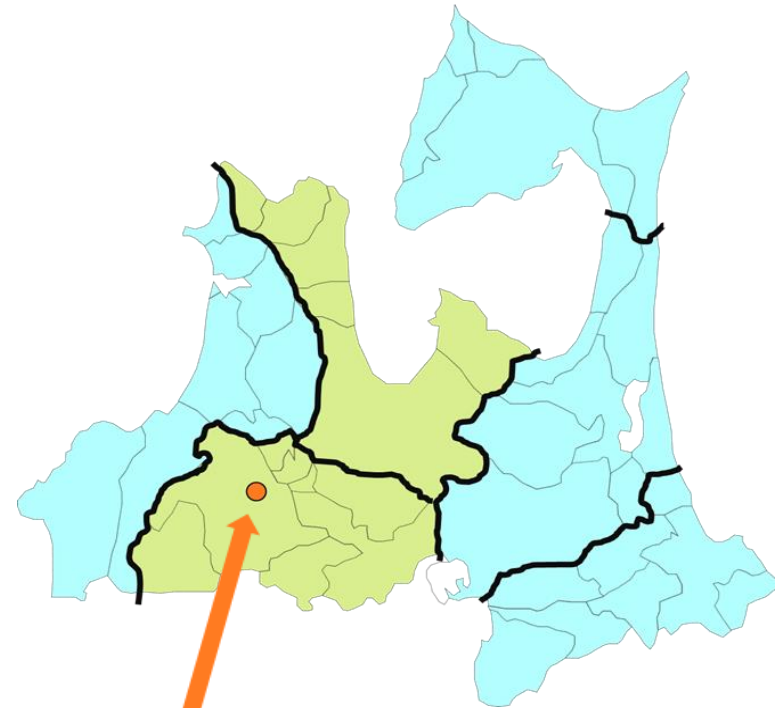
4 医師確保の方針

○ 本県は医師少数県と設定されていることから、医師の増加を基本方針とし、目標医師数として示されている2,896人を超える医師の県内での勤務を目標とする。

5 医師偏在指標

	医師偏在指標	区分	目標医師数(2023年)
全国	239.8	—	—
青森県	173.6	医師少数県	2,896
津軽地域	237.4	医師多数区域	846
八戸地域	157.2	医師少数区域	587
青森地域	176.8	(どちらでもない地域)	649
西北五地域	114.3	医師少数区域	188
上十三地域	129.1	医師少数区域	245
下北地域	151.8	医師少数区域	107

医師少数スポット等の設定



○ 医師少数スポットとしない地域
弘前大学医学部附属病院

○ 医師少数スポット
津軽地域(弘前大学医学部附属病院を除く)
青森地域

○ 医師少数区域
八戸地域、西北五地域、上十三地域、下北地域

青森県医師確保計画の概要

6 三次医療圏・二次医療圏における施策

(1) 2023年度末までに取り組むべき施策

- ① 弘前大学医学部医学科への地元出身者枠、地域枠維持の要請
- ② 地域枠入学者への修学資金の貸与
- ③ 県外の医学部に進学する者への修学資金の貸与
- ④ 弘前大学医学部医学科卒の若手医師の県内定着推進(臨床研修病院との連携など)
- ⑤ UIJターン医師の確保
- ⑥ 若手医師のキャリア形成プログラムの策定
- ⑦ 寄附講座の設置等
- ⑧ 医療提供体制の効率化(上手な医療のかかり方の推進など)
- ⑨ 地域枠卒医師の派遣調整
- ⑩ 医師の勤務環境改善への支援
- ⑪ 医師少数区域で勤務する医師を認定する制度の活用
- ⑫ 上記に加え、弘前大学等との協議や地域医療対策協議会等において新たに必要とされた事業の実施について検討

(2) 2036年度末までに取り組むべき施策

(1)の①、②、③【再掲】

- ④ 上記に加え、現在実施の事業で弘前大学等との協議や地域医療対策協議会等において必要とされた事業は引き続き実施していくほか、協議の中で新たに必要とされた事業の実施について検討

7 産科・小児科医師確保計画について

○医師確保の方針

相対的医師少数県であり、産科医・産婦人科医・小児科医数の増加を基本とする。

○基準医師数を踏まえた施策

基準医師数の達成に向けた本県の施策は、三次医療圏・二次医療圏共に上記6と同様とするほか、産科医・産婦人科医・小児科医の増加に向けた取組を実施。

	産科医師 偏在指標	区分	偏在対策 基準医師数 (2023年)
全国	12.8	—	—
青森県	9.4	少数	87.4
津軽地域	17.0		16.3
八戸地域	5.7	少数	22.1
青森地域	7.1	少数	18.1
西北五地域	8.3	少数	5.0
上十三地域	8.4	少数	5.7
下北地域	15.1		3.6

	小児科医師 偏在指標	区分	偏在対策 基準医師数 (2023年)
全国	106.2	—	—
青森県	93.5	少数	116.0
津軽地域	159.0		24.0
八戸地域	57.2	少数	30.6
青森地域	84.3	少数	24.2
西北五地域	73.2	少数	6.5
上十三地域	98.7		11.6
下北地域	68.0	少数	5.6

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

弘前大学医学部医学科への地元出身者枠、地域枠維持の要請

(2) 取組

国に対する臨時定員増の継続要請

地域枠卒医師の地域医療への従事要件の順守に向けた弘前大学との協議

(3) 現状値

臨時定員27名について、令和5年度まで維持(令和6年度以降は現時点で未定)

弘前大学医学部医学科入学定員の変遷

	総定員	定員	通常入学						学士入学						(再掲)
			内訳						3年次前期編入			2年次編入			
			一般選抜		推薦入学		特別選抜		定員	内訳		定員	内訳		
			一般	青森県 定着枠	青森県 内枠	全国枠	AO入試 (R3～総合型選抜)			青森県 内枠	全国枠		青森県 内枠	全国枠	
							青森県 内枠	地域 指定枠	地域枠						
令和元年度	132	112	50	15			30	17				20	5	15	67
令和2年度	132	112	50	15			27	20				20	—	—	82
令和3年度	132	112	50	20			27	15				20	—	—	82
令和4年度	132	112	50	20			27	15				20	—	—	62
令和5年度	132	112	50	20			27	15				20	—	—	62

※1 学士入学について、平成22年度に限り3年次前期編入と2年度後期編入を受け入れている。

※2 学士2年次編入について、平成26年度までは後期編入、平成27年度からは前期編入となっている。

※3 学士編入は令和2年度入学生から、卒後は弘大で臨床研修を行うことが要件

※4 赤字が地域枠(令和4年度以降の学士枠20名は大学独自枠であり地域枠ではない)

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

地域枠入学者への修学資金の貸与

(2) 取組

青森県医師確保特別対策事業の実施により弘前大学医学生に修学資金を貸与(平成17年度から)
令和4年度から一般枠を拡充(地域枠からの離脱割合が比較的高い学士枠を廃止)

(3) 現状値

弘前大学医師修学資金新規貸与者数(年度別)

平成30年度 26名(特別枠 5名 一般枠 20名 学士枠 1名)
平成31年度 29名(特別枠 5名 一般枠 22名 学士枠 2名)
令和2年度 29名(特別枠 5名 一般枠 22名 学士枠 2名)
令和3年度 28名(特別枠 5名 一般枠 22名 学士枠 1名)
令和4年度 33名(特別枠 3名 一般枠A 24名 一般枠B 6名) ※貸与枠変更

弘前大学医師修学資金貸与者卒業生の所属先(年度別)

	H30. 4		H31. 4		R2. 4		R3. 4		R4. 4	
指定医療機関	119	(41)	127	(38)	142	(40)	152	(38)	173	(39)
指定医療機関外(県内)	13	(6)	21	(6)	18	(5)	17	(6)	13	(5)
指定医療機関外(県外)	13	(3)	11	(3)	10	(3)	15	(3)	10	(3)
弘前大学大学院進学	6	(0)	5	(0)	3	(0)	1	(0)	2	(0)
その他(猶予等)	0	(0)	2	(0)	3	(0)	0	(0)	2	(0)
合 計	151	(50)	166	(47)	176	(48)	185	(47)	200	(47)

※ ()内は臨床研修医を再掲

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

県外の医学部に進学する者への修学資金の貸与

(2) 取組

卒業後、県内医療機関に一定期間医師として勤務することを条件として修学資金を貸与

(3) 現状値

貸与者の現況（令和4年4月1日時点）

区 分	人 数	備 考
修学生	6	修学資金を貸与中の者（1年次 1名、3年次 2名、5年次 3名）
臨床研修医	5	全て県内（1年目3名、2年目2名）
勤務医	7	うち、県内6名、県外（猶予中）1名
全額免除	45	県内で勤務し義務年限に到達した者
一部免除（一部返還）	12	県内で勤務後に県外で勤務することとしたため返還した者
全額返還	23	
計	98	

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

(弘前大学医学部医学科卒の)若手医師の県内定着推進

(2) 取組

基幹型臨床研修病院等で構成する青森県医師臨床研修対策協議会を設置し、臨床研修環境の充実・改善を図るため、以下の取組を進めている。

- ・臨床研修医セミナー
- ・臨床研修医ワークショップ
- ・臨床研修指導医ワークショップ

(3) 現状値

- ・臨床研修医セミナー … 参加者数 H30 114名、R元 140名、R2 不実施、R3 不実施、R4 不実施
- ・臨床研修医ワークショップ … 参加者数 H30 75名、R元 76名、R2 不実施、R3 132名、R4 62名
- ・臨床研修指導医ワークショップ … 参加者数 H30 39名、R元 48名、R2 不実施、R3 不実施、R4 36名

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

UIJターン医師の確保

(2) 取組

医師応援サイト「医ノ森aomori」等を通じた、本県勤務を希望する医師の情報収集
面談を希望する医師との面談及び情報提供

(3) 現状値

UIJターン医師数 … 県内勤務45名（令和4年度5月時点の累計）

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

若手医師のキャリア形成プログラムの策定

(2) 取組

「青森県キャリア形成プログラム」に基づき、在学中から定期的に面談を行うこと等により、可能な限り本人の希望に沿うことができるようなプログラム体系を整備。

(3) 現状値

令和4年度までに、青森県キャリア形成プログラム及び各専門研修基幹施設ごとの診療科別モデルコースを整備。

今後、プログラムの適用対象者について、卒業時期にあわせて個々にキャリア形成プログラムを作成していくこととなる。

【参考】プログラム適用対象者(令和4年度時点)

- ・ 弘前大学医師修学資金の貸与を受けた弘前大学地域枠医師(令和2年度以降の入学者に限る)
- ・ 弘前大学医師修学資金の貸与を受けていない弘前大学地域枠医師(令和4年度以降の入学者に限る)
- ・ 自治医科大学を卒業した医師(令和元年度以降の入学者に限る)

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

寄附講座の設置等

(2) 取組

【県が設置している寄附講座】

●総合地域医療推進学講座

へき地医療拠点病院へ指導医師を派遣、分娩施設が不足している地域への産科医の派遣
県立療育福祉センターへの医師派遣、県内の中核的病院に脳神経外科医を派遣

【県が補助を行っている寄附講座】

●下北圏域医師確保特別対策事業（下北医療センター）

… 下北圏域の医療特性を課題とした研究を推進

【県が補助を行っている委託事業】

●周産期専門医確保対策事業（八戸市立市民病院）

… 県南地域の安全・安心な産科医療の確保

(3) 現状値

医師派遣及び派遣先での医師の指導育成など、各地域における医療体制の構築が進みつつある。

医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

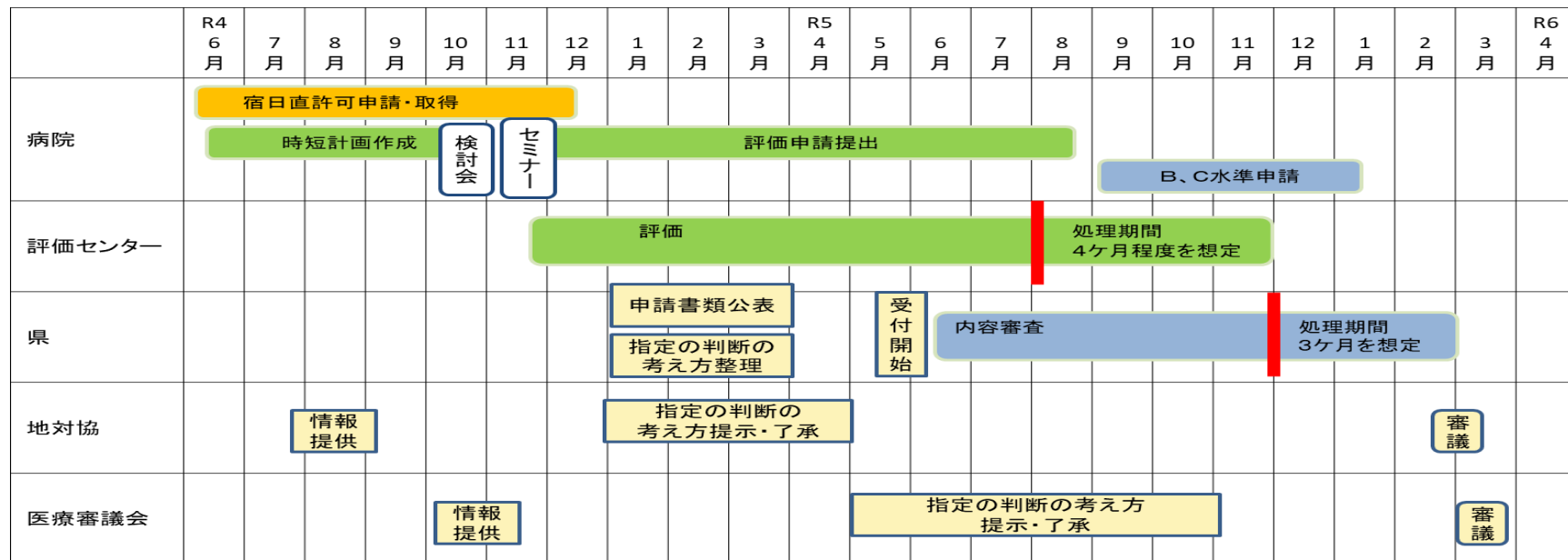
医師の勤務環境改善への支援

(2) 取組

医療機関における勤務環境改善に向けた取組の支援等のため、平成27年4月に青森県医療勤務環境改善支援センターを設置・運営

(3) 現状値

令和6年4月の医師の働き方改革の施行に向け、県内各医療機関の医師労働時間短縮計画の作成や宿日直許可の取得等をはじめとした所要の整備を目指す。



医師確保計画に定める各種施策について

(1) 現行の施策

弘前大学等との協議や地域医療対策協議会等において必要とされた事業

(2) 取組

医学部医学科への進学を目指す中高生の意欲向上や職業観・倫理観の育成、本県出身の医学部医学科合格者数の増加に向け、弘前大学や県内医療機関、教育庁等関係機関と連携し、平成17年度より以下の事業等を実施。

- ・医療チュートリアル体験
- ・ドクタートーク
- ・外科手術体験セミナー

(3) 現状値

- ・医療チュートリアル体験 … 参加者数 H30 152名、R元 146名、R2 不実施、R3 不実施、R4 不実施
- ・ドクタートーク … 参加者数 H30 190名、R元 177名、R2 175名、R3 240名、R4 170名
- ・外科手術体験セミナー … 参加者数 H30 56名、R元 55名、R2 不実施、R3 不実施、R4 46名

医師偏在指標の推移

	区 分	医師偏在指標 (2016年)	医師偏在指標 (2020年) ※暫定値	増 減
全国	—	239.8	253.6	
青森県	医師少数県	173.6	182.1	8.5ポイント増
津軽地域	医師多数区域	237.4	251.9	14.5ポイント増
八戸地域	医師少数区域	157.2	162.1	4.9ポイント増
青森地域	(どちらでもない区域)	176.8	183.1	6.3ポイント増
西北五地域	医師少数区域	114.3	124.0	9.7ポイント増
上十三地域	医師少数区域	129.1	137.2	8.1ポイント増
下北地域	医師少数区域	151.8	154.0	2.2ポイント増

<参 考>

$$\text{医師偏在指標} = \frac{\text{標準化医師数}}{\frac{\text{地域の人口}}{10\text{万}} \times \text{地域の標準化受療率比}}$$

※ 標準化医師数: 医師の性・年齢階級別の平均労働時間で重み付けを行なったもの。

※ 地域の標準化受療率: 地域ごとの医療需要について、人口構成の違いを踏まえ、受療率を用いて性・年齢階級別に調整を行ったもの。
さらに、入院患者・無床診療所患者の患者流出入調整係数により修正。

医師数の推移

	医療施設 従事医師数 (2016年)	医療施設 従事医師数 (2018年)	医療施設 従事医師数 (2020年)
全国	304,759	311,963	323,700
青森県	2,563	2,568	2,631

	人口10万 対医師数 (2016年)	人口10万 対医師数 (2018年)	人口10万 対医師数 (2020年)
全国	240.1	246.7	256.6
青森県	198.2	203.3	212.5

津軽地域	846	862	895
八戸地域	587	566	595
青森地域	649	664	660
西北五地域	159	164	160
上十三地域	217	214	219
下北地域	105	98	102

津軽地域	293.1	305.4	325.3
八戸地域	183.0	180.3	192.0
青森地域	211.3	221.0	223.6
西北五地域	122.9	131.8	133.2
上十三地域	124.4	125.1	130.6
下北地域	143.2	138.8	149.9

資料:「医師・歯科医師・薬剤師統計」(厚生労働省)

医師数の推移(参考)

令和4年10月12日第8回地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループで提起された見直しの方向性

- 第8次医師確保計画に記載する第7次医師確保計画の効果の測定・評価については、算出が困難である計画終了時の医師偏在指標の見込みとの比較ではなく、**病床機能報告等の都道府県が活用可能なデータを参考として評価する。**
- 三師統計については、オンライン提出の仕組みを導入することで、結果を早期に公表できるよう検討を進める。また、既存の他統計との連携も含め、三師統計の更なる充実化を図ることとしてはどうか。

※ 偏在指標算出に用いる三師統計と異なることに留意が必要

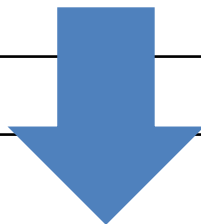
※ 病床機能報告は一般病床と療養病床を有する病院・有床診療所が報告対象

	病院・有床診療所 医師数 (2018年)	病院・有床診療所 医師数 (2019年)	病院・有床診療所 医師数 (2020年)	病院・有床診療所 医師数 (2021年)
青森県	1,732	1,714	1,680	1,719
津軽地域	666	653	615	654
八戸地域	364	347	371	391
青森地域	422	418	412	399
西北五地域	92	88	88	84
上十三地域	119	130	117	115
下北地域	69	78	77	76

資料:「病床機能報告」(厚生労働省)

医師確保計画策定に係るスケジュール(見込)

時期 (見込)	医療審議会	協議の場 (地域医療対策協議会)	県	(参考)前回策定時
令和5年2月		・第2回青森県地域医療対策協議会 (国の動向・各施策の現状値報告)	・医師確保計画に係る取組の分析	
令和5年3月				
令和5年4月			・医師確保計画原案作成	
令和5年5月				
令和5年6月	・第1回医療審議会 (医師確保計画原案)			(令和元年6月) ・令和元年度第1回地対協 (医師確保計画骨子案協議)
令和5年7月		・第1回青森県地域医療対策協議会 (医師確保計画原案)		
令和5年8月			・医師確保計画素案作成	
令和5年9月		・意見照会 (医師確保計画素案)		
令和5年10月	・第2回医療審議会 (医師確保計画案諮問)			
令和5年11月			・医師確保計画案作成	
令和5年12月				(令和元年12月) ・令和元年度第2回地対協 (医師確保計画素案協議)
令和6年1月			・医師確保計画案作成	
令和6年2月		・第2回青森県地域医療対策協議会 (医師確保計画案報告)		令和2年2月) ・令和元年度第3回地対協 (医師確保計画案等協議)
令和6年3月	・第3回医療審議会 (医師確保計画案答申)			(令和2年3月) ・医療審議会 (医師確保計画案の諮問・答申)



計画策定